



Breakthrough

九州の中小企業・留学生・日本人学生のアジア突破プロジェクト

 NPO 法人 ASIA <http://npo-asia.com/>
Asian Students Innovative Association

 <http://breakthrough-asia.com/>



 NPO 法人 ASIA
Asian Students Innovative Association



● 設立趣旨

今日、世界各国のボーダレス化が進み、アジア諸国が急速な経済的成長を遂げていく中、九州・福岡ではアジアの玄関口（ゲートウェイ）を掲げ、行政のみならず産業界・学术界でもアジアとの交流を促進しています。私たちは国内で最もアジアに近い立地を活かした、九州企業の海外市場進出による九州経済の活性化と、国際競争が進むアジアの中で活躍する若者の人材力を育成することを目的に、平成21年8月に任意団体として活動を開始いたしました。活動の中でも主軸となっているのが、九州の地場企業のアジア戦略をテーマとする、留学生と日本人学生が協同して取り組む課題解決型インターンシップ推進支援であり、国内外の課題の解決・グローバル化の促進に多くの賛同を得て、産学官の三者をあげて取り組む事業となっております。また、これらの活動を通して日本での生活で孤立する留学生の実態を目の当たりにし、安心・充実した学生生活の中で日本の若者と交流できるよう、平成24年9月より留学生への生活支援・ボランティア活動も行っております。今後、より一層活動の輪を広げ、九州のグローバル化の促進に関わるとい志を同じくする九州企業・留学生・日本人学生が集う「場」をつくり、九州から世界へ羽ばたく若者の育成に関する事業、留学生が日本を好きになってもらうために日常生活を支援する事業を行い、お互いの経験交流や学び合うこと、支え合うことなどのサポート機能を充実させていく所存です。併せて九州経済が活性化し、国際競争激化するアジアの中で活躍する若者の人材力を育成することに寄与することを目的に、公益を目的とした社会的信用のある法人格の取得が必要だと考え、ここに「特定非営利活動法人ASIA」を設立いたします。

● 役員一覧

特別顧問	石原 進	九州旅客鉄道株式会社 相談役	理事	縄田 修	ナワタ消化器外科医院 院長
顧問	田中 優次	西部ガス株式会社 代表取締役会長	理事	正田 英樹	株式会社ハウインターナショナル 社長
代表理事	吉田 茂視	株式会社メモリード 代表取締役社長	理事	庵 博文	株式会社SeaMans 代表取締役
副代表理事	阿比留 正弘	福岡大学経済学部産業経済学科 教授	理事	壇 健太郎	ever 代表
理事	長谷川 裕一	株式会社はせがわ 相談役	監事	篠原 俊	篠原公認会計士事務所 代表
理事	羽田野 節夫	羽田野総合法律事務所 所長 弁護士			



NPO法人ASIA
代表理事 吉田 茂視

ご挨拶 代表理事 吉田茂視より

「問題解決型」、「実践型長期インターンシップ」であるBreakthroughでは、留学生と日本人学生がグローバルな視点で切磋琢磨し、企業が出すテーマに取り組んできました。Breakthroughは今年度が6年目で、全8プロジェクトが活動しました。この活動によりグローバル人材が輩出され、企業へビジネスチャンスをもたらしております。Breakthroughの活動が福岡からアジアへ未来の架け橋となって九州経済が活性化するよう、行政、産業界、学术界が連携して対アジア協力体制を作っていきます。将来の日本とアジア諸国の要となるのは若者たちです。どうか皆様にもこれからの時代を担う留学生・学生の活動にご理解いただき、ご支援いただきますようお願いいたします。

● Breakthroughとは

NPO法人ASIAが運営するBreakthroughは、学生の社会人基礎力を育成するカリキュラムとして、企業の第二創業、新規事業の設立、社内問題の解決をテーマ課題に設定した、「問題(課題)解決型PBL」と「実践型長期インターンシップ」を取り入れた独自の教育プログラムです。福岡大学を中心に、福岡市内21大学・学部・学年を横断して編成された1～4年次生のチームが、企業から提供されたプロジェクトテーマに取り組む過程を通して、実社会で活用できる能力を育成し留学生、日本人学生の地元企業への就職支援、事業設立による雇用機会の創出を目的として取り組んでおります。



● Breakthrough実施背景

市場縮小の日本、市場拡大のアジア。生き残る道は海外進出と留学生活用

近年、国際競争が激化している世界経済において、日本の経済状況は大変な危機を迎えています。日本の少子化の影響は、日本の人口・市場の縮小に繋がり、①日本の人口は2048年には一億人を切ると予想されており、今後30年で約3000万人の人口が減少していくと推測されています。これは毎年100万人の市場(北九州市と同人口)が国内から消えていくことを意味しています。これに対して、中国、インド、インドネシア、を中心としたアジア諸国に於いては、②2030年までに新中間層(日本の高度経済成長期に増加した商品の購買力を持つ同等の消費・購買層)が23.6億人へ増加し、毎年2700万人の新しい市場が生まれると言われています。市場縮小の日本、市場拡大のアジアにおいて日本経済、日本企業が生き残っていく選択肢として海外(アジア)進出は避けて通れない道となっています。しかしながら、私達が生活する九州において、③海外進出している企業は964社(2011年度)で、九州の企業数23万社の中の0.4パーセントに過ぎません。この数字に比例するのが留学生の九州企業への就職数もとても低い数値となっています。海外進出において、語学や現地の文化習慣などが壁となるため、信頼すべきパートナーの存在が欠かせません。本気で海外進出を考える際に、日本の文化、習慣を学び日本人の考え方を理解した、信頼できる留学生の雇用価値が高くなります。ですが、④九州の留学生総数17488人(2011年)もいるにもかかわらず、419人(2.3%)しか雇用されていません。特に、福岡県は、日本で2番目に留学生が多い都市であるのにも関わらず、多くの企業は、この機会を生かしていない現状が有ります。このような状態を放置すると、市場の縮小により、企業は商品の買い手を失い、商品が売れなくなり、企業で働く人々の給料が上がらないばかりか、リストラされ、日本の学生も留学生も就職先を見つけることも出来ないことになってしまいます。このような九州の現状、課題を打破するために私達はこの活動を行っております。

- ※① 国立社会保障・人口問題研究所
日本の将来推計人口(平成24年1月推計)』より
- ※② 新中間層獲得戦略研究会「新中間層獲得戦略アジアを中心とした新興国とともに成長する日本」より
- ※③ 総務省統計局統計調査部経済基本構造統計課
『経済センサスー基礎調査(2011年)』より
- ※④ 法務省「平成22年における留学生等の
日本企業等への就職状況について」より



NPO法人ASIA
副代表理事 阿比留正弘

ご挨拶 コーディネーター 阿比留正弘より

「学生に何が出来るの?」「学生なんて当てに出来ない」などの言葉がよく投げかけられます。確かに学生は時間にルーズだったり、約束を守れなかったり、欠点はとてもたくさんあります。でも、誰でも昔は「学生」でした。今年は、「学生だからNO」から「学生なのに、よくここまで出来たね」と言われる様になることが目的です。Breakthroughは日本人学生と留学生が協力して地元の企業研究を行い、留学生のネットワークで海外進出することを目的としています。海外進出先として中国に代わりASEANがより大きな注目を集めています。そこで、最近では福岡大学とASEAN諸国との大学間協定を活用し、現地の大学生と協力しながらプロジェクト活動を進めています。2年前は、銘傳大学(台湾)、珠海学院大学(香港)、王立ブノンベン大学(カンボジア)の3校の学生とMOUを構築しました。昨年度はC P U 大学(フィリピン)、Kasetsart大学(タイ)と提携しました。このような動きを加速させ、留学生や現地の大学生を通じて地元企業の海外進出の成功を目指しています。

Breakthroughの実施概要と過去の実績

ABPC2011 最終コンテスト優勝 メモリードプロジェクト



- 2011 年6月

●アジアビジネスプランコンベンション (Breakthroughの前名称2012年より改名)
参加テーマ企業：株式会社メモリード、株式会社久原本家、大口酒造株式会社、株式会社リンガーハット、株式会社メロディアン、株式会社蒼美堂、Japan online株式会社、株式会社ニチボー
参 加 大 学：福岡大学…38名、九州大学…28名、中村学園大学…14名、西南大学…5名、筑紫女学園大学…4名、福岡女子大学…2名、久留米大学…2名
留学生出身国：中国…17名、韓国…1名、アゼルバイジャン…1名、マレーシア…1名、フランス…1名
参加学生合計：92名「内訳 日本人学生…70名、留学生…22名」
- 2011 年8月

※4回の中間発表を経てアジアビジネスプランコンベンションコンテスト
優勝：メモリードPJ 準優勝：リンガーハットPJ 3位：ニチボーPJ

Breakthrough2013 最終コンテスト優勝 大口酒造プロジェクト



- 2013 年6月

(一社)飯塚友情ネットワーク、(株)エーフェウチャー、大口酒造(株)、(株)久原本家、(株)ゴーゴラボ、(株)サニックス、(株)ニチボー環境エンジニアリング、(福)豊栄グループ、(株)メモリード (計9社)
参加学生合計：125名「内訳 日本人学生…87名、留学生…38名」
- 2013 年9月

●企業調査審査会
テーマ企業の理解・信頼関係の構築、現状調査の発表を行うコンテストを開催
- 2013 年12月

●海外マーケティングプランコンテスト
海外調査プランを審査するマーケティングプランの審査会開催
- 2014 年3月

●Breakthrough—アジア突破プランコンテスト開催
優勝：大口酒造 PJ 準優勝：福岡友情ネットワーク PJ 3位：メモリード たこ焼き PJ

Breakthrough2012 優勝 メモリードスイーツ、同率優勝 久原本家プロジェクト



- 2012 年6月

●Breakthrough—アジア突破—開始 (「アジアビジネスプランコンベンション」から改名)
参加テーマ企業：株式会社メモリード、株式会社久原本家、大口酒造株式会社、豊栄グループ、飯塚友情ネットワーク、株式会社ニチボー、株式会社
参 加 大 学：福岡大学…62名、九州大学…16名、中村学園大学…2名、西南大学…11名、筑紫女学園大学…7名、福岡女子大学…4名、久留米大学…4名、九州外語学院…3名、九州工業大学…2名、九州産業大学…1名
留学生出身国：中国…32名、韓国…2名、アゼルバイジャン…1名、フランス…1名
参加学生合計：108名「内訳 日本人学生…72名、留学生…36名」
- 2012 年9月

●企業調査審査会
テーマ企業の理解・信頼関係の構築、現状調査の発表を行うコンテストを開催
- 2012 年12月

●海外マーケティングプランコンテスト
2月に行う海外調査プランを審査するマーケティングプランの審査会開催
- 2013 年3月

●Breakthrough—アジア突破プランコンテスト開催
優勝：メモリードスイーツPJ 同率優勝：久原本家PJ 3位：大口酒造P

Breakthrough2014 最終コンテスト優勝 A-futureプロジェクト



- 2014 年6月

(一社)飯塚友情ネットワーク、(株)A-future、大口酒造(株)、(株)紙資源、(株)久原本家、(株)ゴーゴラボ、シンゲンメディカル(株)、(株)サニックス、(福)豊栄グループ、(株)丸松セム、(株)メモリード(計11社)
参加学生合計：101名「内訳 日本人学生…86名、留学生…15名」
福岡大学…61名、九州大学…5名、中村学園大学…15名、西南大学…6名、福岡女子大学…1名、久留米大学…2名、近畿大学…2名、福岡歯科大学…1名、福岡外語学院…1名、九州情報大学…3名、九州産業大学…2名
- 2014 年9月

テーマ企業の理解・信頼関係の構築、現状調査の発表を行うコンテストを開催
- 2014 年12月

●海外マーケティングプランコンテスト
海外調査プランを審査するマーケティングプランの審査会開催
- 2015 年3月

●Breakthrough—アジア突破プランコンテスト開催
優勝：A-future PJ 準優勝：久原本家PJ 3位：メモリードGOODSMILE PJ

Breakthrough2016 プロジェクト集合写真



久原本家プロジェクト



メモリードプロジェクト



TSIプロジェクト



豊栄プロジェクト



福岡友情ネットワークプロジェクト



博運社プロジェクト



さくらフォレストプロジェクト



ありがとうサービスプロジェクト

さくらフォレストプロジェクト



Breakthrough2015

最終コンテスト優勝 ありがとうサービスプロジェクト



- 2015年6月
- 一般社団法人 飯塚友情ネットワーク 様、株式会社 ありがとうサービス 様、株式会社 GUIDER 様、株式会社 久原本家 様、株式会社 博運社 様、株式会社 メモリード 様、社会福祉法人 豊栄グループ 様、Hopewill Group(Holding)Ltd. 様
参加学生合計： 138名「日本人学生…121名、留学生…17名」
福岡大学 69名、 福岡女子大学 20名、 西南学院大学 12名、 筑紫女子大学 6名、
中村学園大学 5名、 九州大学 4名、 福岡工業大学 3名、 九州産業大学 1名、
福岡教育大学 1名、 留学生 17名
- 2015年9月
- 企業調査審査会
テーマ企業の理解・信頼関係の構築、現状調査の発表を行うコンテストを開催
- 2015年12月
- 海外マーケティングプランコンテスト
海外調査プランを審査するマーケティングプランの審査会開催
- 2016年3月
- Breakthrough—アジア突破プランコンテスト開催
優勝:ありがとうサービス PJ 準優勝:福岡友情ネットワーク PJ 3位:久原本家 PJ

Breakthrough2016

最終コンテスト優勝 さくらフォレストプロジェクト



- 2016年6月
- 株式会社ありがとうサービス 様、一般社団法人 飯塚友情ネットワーク 様、株式会社 久原本家グループ本社 様、さくらフォレスト株式会社 様、株式会社TSI EC ストラテジー 様、株式会社 博運社 様、社会福祉法人 豊栄グループ 様、株式会社メモリード 様
参加学生合計：93名(福岡大学 66名、筑紫女子大学 19名、九州大学3名、西南学院大学 3名、九州工業大学1名、福岡女学院大学1名)
- 2016年9月
- 企業調査審査会
テーマ企業の理解・信頼関係の構築、現状調査の発表を行うコンテストを開催
- 2016年12月
- 海外マーケティングプランコンテスト
海外調査プランを審査するマーケティングプランの審査会開催
- 2017年3月
- Breakthrough—アジア突破プランコンテスト開催
優勝:さくらフォレストPJ 準優勝:ありがとうサービス PJ 3位:久原本家 PJ

●プロジェクト達成目標

台湾での通信販売事業の月間売上 500 万円

私達のインターン先であるさくらフォレスト株式会社は、2014 年に設立し急成長しているベンチャー企業です。さくらフォレスト株式会社は健康食品やスキンケア商品の通信販売を行っています。2015 年には台湾での通信販売事業を開始し、スキンケア商品の販売を行ってきました。そんな企業から私たちに与えられたテーマは台湾での通信販売事業の拡大です。「楽しいことはまじめに。まじめなことは楽しく。」をモットーに、今年は現在販売している商品の売上アップを目標に活動を行ってきました。台湾人留学生や現地の企業などを巻き込み、学生ならではの方法で企業の売上アップに貢献しました。企業と大学生と留学生が同じ目標に向かって取り組むことで、売上をプロジェクト開始時の 10 倍以上にし、目標の 500 万円を大きく上回ることができました。



●プロジェクトの歩み —活動履歴—

現状分析

問題発見

問題解決

7月 プロジェクト始動



- ◆自社調査
 - ・担当者の方に説明を受ける
 - ・ビジネスモデルを理解する
- ◆ネット調査
 - ・化粧品業界について知る
- ◆テーマ・目標の設定
 - 【テーマ】台湾通販事業の拡大
 - 【目標】月間売上 500 万円達成

強みは商品力の強さと
リピート率の高さ！！

8月



- ◆第1回現地調査
 - ・実際に現地に足を運び
 - ・台湾の通販の現状を知る

9月



- ◆他社訪問
 - ・他社と比較し理解を深める

内部審査発表会 第4位

10月



- ◆留学生との交流
 - ・交流イベントへの参加
- ◆問題点の洗い出し
 - ・今までの活動の整理

なぜ売り上げが
伸びないのか？

◆既存データの分析

- ・いままでの売上分析

新規顧客数の圧倒的少なさ

11月



- ◆ヒアリング調査
 - ・留学生に買い物実態調査

台湾と日本の買い物文化の
違いを発見！

◆企業に新たな広告の提案

- ・動画広告の必要性を伝える

SNS×動画広告 採用

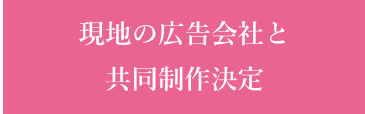
前期コンテスト 第2位

12月



- ◆動画作成
 - ・動画の内容決め

第2回現地調査



- ・現地の広告会社を訪問
- ・共同制作のお願い

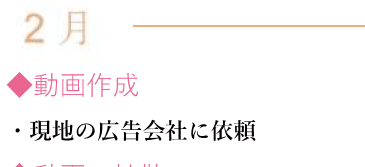
現地の広告会社と
共同制作決定

1月



- ◆動画作成
 - ・サンプルを30本撮影

2月



- ◆動画作成
 - ・現地の広告会社に依頼
- ◆動画の拡散
 - ・SNSサイトへ投稿

3月



- ◆結果分析
 - ・動画広告の結果分析

月間売上 500 万円達成！

最終コンテスト 優勝



さくらフォレスト株式会社
代表取締役 高島励央 様

テーマ背景 学生に自立してほしい

めまぐるしく変化し続けている社会に対して価値を提供していくには、自分自身をありのままに表現し、やりたいと思ったことを具現化していくが必要になってきます。今回、私たちは学生に対してこういうことをやりなさいといったような指示をあえてせず、学生が自由にやりたいと思ったことをできるよう「台湾における通販事業の拡大」という広いテーマを設定させていただきました。学生たちも私達の期待に応えてくれ、私達も勉強になりました。今回関わっていただいたみなさんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

企業担当者の想い

私達は学生達に Breakthrough の活動を通して学生たち自身のアイデアや、行動でビジネス目標を達成する、成果を上げるということを体感してほしい、仕事は自分次第でこんなに楽しいんだということが感じて頂けたら良いと考えておりました。そこでプロジェクト結成時に、彼らに対して学生のいう失敗なんて小さなもので失敗したということを自覚し、改善することが大事なのでどうせやるなら本気になってとにかくやってみたらいいということを伝えました。ところがとにかくやってみるという根拠なき決断は特に「責任」という足枷がある私達社会人にとっても非常に困難なことだと思います。そんな中彼らは学生という視点で顧客の購買心理を考え try&error を繰り返し実践した結果、想像もしない発見と成果を残していただいたので私達にとっても大変勉強になりました。

Breakthrough の根本的な背景の1つとして AI の普及に伴って今価値を見出しているテクニックやスキルが奪われることが挙げられます。したがってこれからの時代を担う若者は AI には真似できないような人財となることを強いられます。その点学生という時間は「失敗」と「思い込み」が許される時なので自分の感覚をもっと信じてやっていいと思います。そうして様々な経験をしながら感性を磨き、AI には決して真似できないような自分という軸を創り上げて行って欲しいです。

●プロジェクトメンバー紹介

◆福岡大学

- 石松 裕平 経済学部
- 小柳 裕樹 経済学部
- 松熊 莉央 経済学部
- 橋本 薫 法学部
- 宇治郷 愛子 法学部
- 一瀬郁弥 法学部
- 石橋寛太 工学部

◆筑紫女学園大学

- 永山 瑛恵 現代社会学部
- 熊本 佳純 現代社会学部
- 藤本 亜依怜 文学部

◆九州大学

- 林裕太 工学部

◇留学生メンバー

- 王 昌慈
- 周 蓉



Breakthroughプロジェクト紹介

ありがとうサービスプロジェクト



●プロジェクト達成目標

カンボジアでの自社店舗オープン



株式会社ありがとうサービス
リユース事業最高責任者 二宮芳雄 様

テーマ背景

今の日本は生活が豊かになり、モノがあふれている時代になってきています。私たちが取り組んでいるリユースでも以前はほとんどの商品を買っていただいていたのですが、ここ最近是我々店舗においても廃棄をしてしまう現状です。その中で、私たちが仕分けをすることリサイクルできるもの、リユースできるモノがわかりました。また東南アジア、アフリカに目を向けると Used Japan の商品を喜んで使っている姿があり、日本では不要なモノでも必要としている人たちに使ってもらえる。「もったいない」を海外にもっと広めることができるのではないかとその思いで今回カンボジアに店舗を作りたいと考え学生の皆さんと活動を始めました。本当に今回関わっていただいたみなさんに感謝申し上げます。ありがとうございました。



●プロジェクトの歩み —活動履歴—

現状分析

7 月 プロジェクト始動



- ◆自社調査
- ・担当者の方に説明を受ける



- ◆自社倉庫見学

8 月



- ◆自社店舗インターン
- ・現地で販売する商品の選定

問題発見

9 月



- ◆現地でテスト販売

10 月

- ◆店舗づくりの提案

11 月

- ◆ターゲット層の決定
- ◆Facebook 広告の実施

12 月



- ◆配達問題への試行錯誤
- ◆自社店舗オープン

問題解決

1 月

- ◆売れ筋・死に筋商品の発見

2 月



- ◆現地店舗でアンケート調査

以前よりも高所得者や
車で来店率増加が発覚！

3 月



- ◆エリア分析とポスティング

来店者数増加！！

内部審査発表会 第3位

前期コンテスト 第1位

最終コンテスト 第2位

●プロジェクトメンバー紹介

◆福岡大学

相良燦太 経済学部
古賀悠介 経済学部
甲斐美月 経済学部
井手大樹 経済学部
津野田翔 経済学部
久原あやめ 人文学部
塩川裕美 人文学部

◆王立プノンペン大学

Breng Darey Phen Lot
ChanMolika Muth Samreth Sopheak
David Pich
Hun Sreymom
Kvanthai lng
Lalin Vanny
Ouk Keonuprath



Breakthroughプロジェクト紹介

久原本家プロジェクト



●プロジェクト達成目標 「茅乃舎」の台湾進出



株式会社久原本家
柴田 芳孝 様

テーマ背景

株式会社久原本家は、124年前に福岡の久山で醤油を作り始め、今では5つの食品ブランドを展開する総合食品メーカーです。5つの食品ブランドの内「茅乃舎」は無添加にこだわり社長自ら選んだ自然の食材だけを用いて、自社で製造から販売まで行っている特別なブランドです。この茅乃舎を中心に久原本家は海外進出事業を数年前から始め、2016年の8月にベトナムとアメリカに現地法人を立ち上げました。そして、次のターゲットはアジア圏です。今年度は多くの留学生や現地での協力者など様々な台湾の方に協力していただき、2度目の催事では店舗だけでなくECも期間限定で現地開設し、両方とも完売することができました。最後に今回関わっていただいたみなさんに感謝申し上げます。ありがとうございました。



●プロジェクトの歩み —活動履歴—

現状分析

7月 プロジェクト始動



◆ECについての勉強会



◆留学生メンバー探し

8月 —活動停滞—

9月 —



◆留学生にヒアリング食事会

内部審査発表会 第8位

問題発見

10月 —



◆留学生にヒアリング食事会

11月 —

◆社長にプレゼン

12月 —



◆催事の準備

1月 —

◆ECの立ち上げ準備

前期コンテスト 第7位

問題解決

2月 —



◆台湾現地で家庭訪問

◆Facebookでの情報発信

現地の人に茅乃舎について
知ってもらうことに成功！

3月 —



◆販売結果分析

販売促進達成！！

最終コンテスト 第3位

●プロジェクトメンバー紹介

◆福岡大学

森大地 経済学部

河野倫香 経済学部

岡本幸陽 経済学部

◆筑紫女学園大学

加藤礼夏 現代社会学部

◆西南学園大学

井上理央 人文学部

◆アジア日本語学院

頼之馨

張誠羿



●最終コンテストの様子



●Breakthrough2017学生代表挨拶



Breakthrough2017
学生代表 相良燦太

今年度 Breakthrough2017 学生代表をすることになりました福岡大学経済学部産業経済学科4年生相良燦太です。今年度で Breakthrough に所属して4年目になります。これまで Breakthrough の活動を通じて、本当にたくさんのことを学ぶことが出来ました。そしてこれからのブレイクスルーをよりよくしていくことに前線を取り組んでいきたいと考えるようになり、代表に立候補しました。周りからの後押しのおかげで代表になることができ、今まで以上に責任感を持ち、手伝ってくれる仲間・社会人と協力していきたいと思っています。今までを引き継ぎ、昨年度ができなかったことをしていきたいです。どんなことにも「拘り」をもって取り組み、全員がやってよかったと思える1年を本気で作り上げていきたいと思いますので、ご指導・ご協力の程よろしくお願いします。

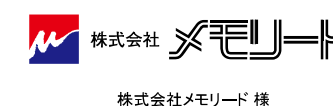
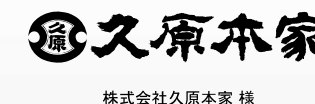
●Breakthrough2017運営代表挨拶



Breakthrough2017
運営代表 永山瑛恵

今年度 Breakthrough2017 運営代表をすることになりました筑紫女学園大学現代社会学部現代社会学科3年生永山瑛恵です。今年度で Breakthrough に所属して3年目になります。私は昨年度まで他大学生というくくりで仕事を振られることが多かったため、どこか活動のやり辛さを感じていました。Breakthrough は今後、九州各県に支部を置き、全国へ広めていくことをビジョンに掲げています。そのため、その基盤作りとして、今年度私は、まず福岡県内のたくさんの大学の学生に Breakthrough の活動に参加してもらい、どこの大学の学生でも同じようにたくさんの出会いに巡り合えるような組織作りに励みたいと思っています。自分が福岡大学の学生でないからこそ持っている客観的な視点を忘れずに、福岡の Breakthrough を一つの成功例として他の県での Breakthrough 設立の役に立てるよう精一杯努力していきます。

2016年度テーマ企業一覧



※掲載順は法人種別を除いたあいうえお順

「ふくおか共助社会づくり表彰」で"共助社会づくり奨励賞"を受賞

特定非営利活動法人 A S I Aは2014年11月29日(土)、福岡市で開催された「ふくおか共助社会づくり表彰」表彰式典で「共助社会づくり奨励賞」を受賞しました。「ふくおか共助社会づくり表彰」はNPOと企業や行政、その他団体との協働による優れた取組を表彰する式であり、先進的で、将来性や波及効果が大きいと期待される取り組みであると評価されました。



＜受賞概要＞

- 表彰名:「平成26年度 ふくおか共助社会づくり表彰」
- 主 催:福岡県
- 受賞内容:「共助社会づくり奨励賞」
地場企業との連携による留学生等のインターンシップ

NPO法人ASIA正会員募集

正会員募集のご案内

平成21年9月より任意団体として活動を始めた当団体は、法人格の取得を目指して設立準備を進めておりましたが、皆様の暖かいご支援・ご協力のお陰もあり「特定非営利活動法人ASIA」として本格的にスタートします。グローバル化が押し寄せる現代において企業は変化を求められておりますが、この活動を通して日本の将来の担い手となる若者達を育てることで、延いては九州経済の活性化に繋がることをご理解いただき、当法人の活動にご賛同いただけたら幸いです。

資格・概要	総会での議決権を持ち、法人運営活動に参画していただける方。	
会 費	入会金:10,000円	年会費: 個人30,000円 年会費: 法人60,000円

正会員申し込みに関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人ASIA
〒810-0004
福岡市中央区渡辺通5丁目15-6 縄田ビル203
Tel: 092-724-3071 Fax: 092-724-3609
E-mail: dai@npo-asia.com

※活動に関わる案内や、セミナー・シンポジウム等に関するご案内を電子的方法にて定期的にお送りさせていただきます。
※総会をはじめとする法人運営に関わる会合等のご案内をお送りします。

